

リニューアルの花輪図書館

来館者数が大幅増

鹿角 1カ月で旧施設の2倍

鹿角市花輪の複合施設「文化の社交館コモッセ」は16日で、開館から1カ月を迎えた。このうち館内に移転リニューアルした花輪図書館の来館者数は、約1カ月間で約1万3000人。旧施設の昨年6カ月間の実績を大幅に上回った。従来の図書館のイメージにとられないイベントなどが奏功しており、西山進館長は「図書館を地域交流の場にしていきたい」としている。

三重県)によると、県内初の自動貸出機導入などハード面の充実で、利用者の声に耳を傾け、サービス向上に注力できていることが要因の一つという。コモッセ内の他施設からの流入も多く、複合施設という面も好影響をもたらしている。

また、大型連休中には「かるた大会」や「iPad」を使ったワークショップ、工作教室などのイベントを開催した。インターネットでの貸し出し予約開始、開館時間の延長、休館日の削減など新たな試みも実施。誰でも気軽に利用できる施設を目指しており、親子連れを中心ににぎわっている。

西山館長は「図書館はいろいろな使い方ができる。情報を提供、共有する場に、さらなる利用者増につなげたい」と話していた。

このほか、コモッセ内の各施設によると14日までの来館者数は、子ども未来センターが約3500人、花輪市民センターが約4800人という。



「かるた大会」などのイベントで「きわむつ花輪図書館(図書館提供)」

コモッセ開館1カ月

コモッセは鹿角市で初の本格的なホール機能を備えた施設として4月16日に開館。子育て支援施設の子ども未来センター、花輪図書館、花輪市民センターで構成する。呼び込む人の流れは年間20万人を見込み、地域活性化に向け期待がかかっている。

新花輪図書館の来館者数はコモッセの開館から5月14日までで1万3647人だった。旧施設は昨年4〜9月まで7118人、約1カ月間で昨年半年間の2倍近い数となった。

指定管理者として新図書館を運営する図書館業務プロデュース・リブネット(本社・